



LDK: エンガワとの明暗の差により、落ち着いた空間となる



個室: エンガワに大きく開いた開口部



外観: 檜の列柱が外部と内部の境界となる

エンガワのある住宅

和の住宅には、縁側や通り土間、坪庭など、魅力的な空間があります。それらは、人と人、人と自然、人と街を結ぶ空間でした。

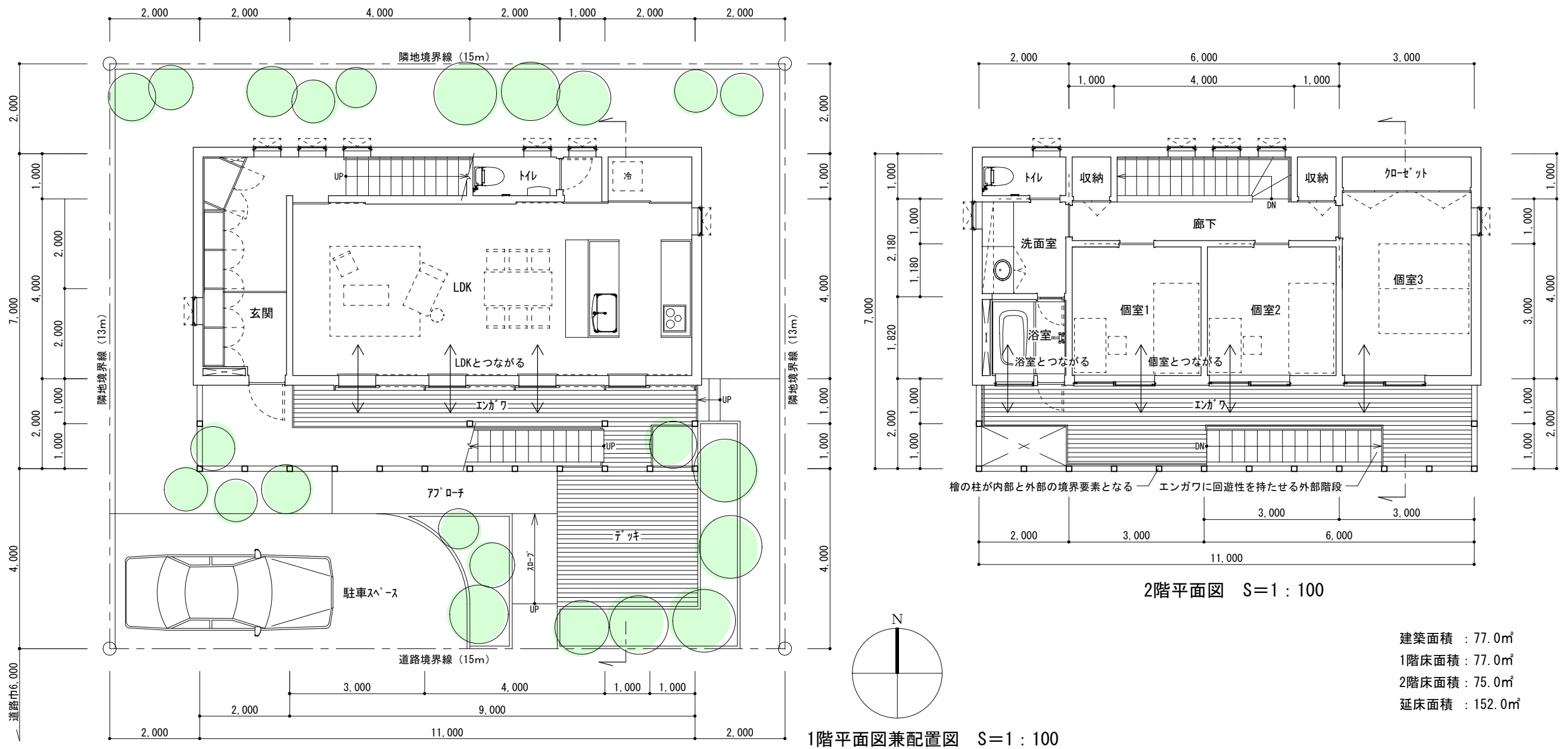
現代社会は、情報技術の進化により、様々なコミュニケーションが生まれていますが、それと同時に、身体を伴ったコミュニケーションや自然との関わりが希薄になりつつあります。

【提案】

今回、様々な「縁」を取り込む「エンガワ」を中心に生活する「エンガワのある住宅」を提案します。

- 人⇄人 家族、友人や近所の人たちと日常的な交流ができる縁側のような空間
- 人⇄自然 自然を散策する、露地のような回遊性のある空間
- 人⇄街 檜の列柱により、街に開きつつ、境界をわける回廊のような空間

和×モダン=和の住宅の要素×「縁」のある現代生活=エンガワのある住宅



建築面積 : 77.0㎡
1階床面積 : 77.0㎡
2階床面積 : 75.0㎡
延床面積 : 152.0㎡

